

# オ. 公共広場計画

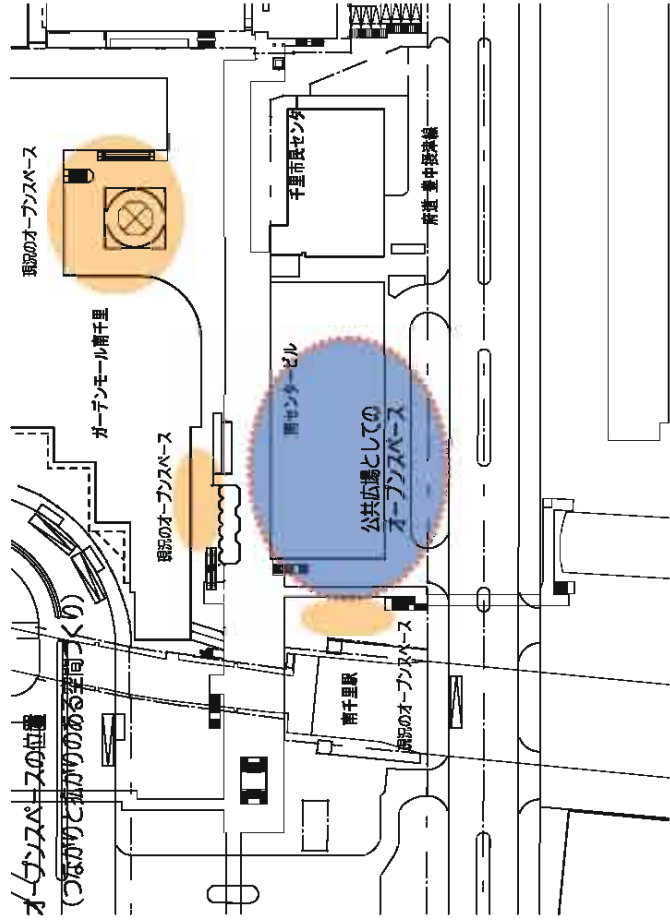
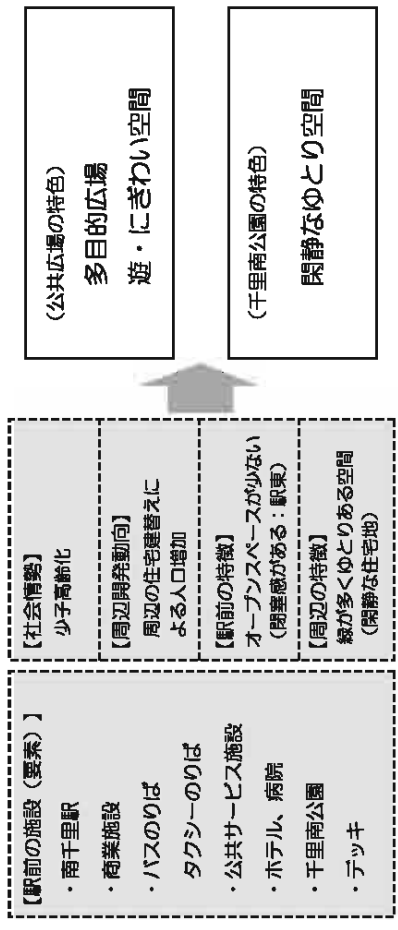
## 公共広場の位置づけとコンセプト

### アメニティプラザの創造

日常的な生活環境を創出しつつ、まちなみ景観、地域文化やコミュニティの創出、周辺との連携をめざし、「アメニティあふれる」空間形成を行います。

#### テーマ（公共広場整備にあたっての視点）

- ①：利用者にとって  
南地区センター利用者の快適な回遊・滞留・昇降空間の確保  
南地区センターを訪れた人々が快適に移動できる回廊と、とどまることのできるベンチなどを配置し、周辺施設と連携性を持ちながら相互間の関係を強化することができる機能の確保。
- ②：景観から見て  
周辺の建物のデザイン性、素材などと調和させ、周辺景観に馴染みやすいような景観性に配慮  
長期的にみて、公共広場から周辺施設に対してデザインや素材、色彩など波及効果を与えることのできる機能を有し、まちなみに調和していくことのできる発信拠点。
- ③：南千里の顔づくり  
ニュータウンの発祥の地として、ふさわしいランドマークとなるよう存在し、南千里の玄関に適した“顔づくり”  
ニュータウンの歴史性を尊重し、ふさわしい広場設置を備えた都市広場として整備することで、訪れた人々が語り交わす場を持つことにより、“南千里の顔”としての空間構成を確保。
- ④：広場の活用  
積極的にイベントや祭りなど行える場を提供し、南地区センター利用者の交流を促進  
これまで訪れてきた南千里の地域活動や地域交流行事を通じ、新たな情報発信や交流拠点として次世代に継承することのできる、地域活性化を助長する役割。



南地区センター周辺の航空写真（平成16年末）

南千里の要素及び主な広場装置



南千里の要素



昭和40年に生まれた南センター専門店街

「南千里ラストサマーフェスティバル」(写真左上、右上)



左：キャラクタープラザ (千里南公園)



右：千里ライフウォーク (千里南公園)







平成16年に民間活力により整備された「ガーデンモール南千里」



SENRI 菜市&フリーマーケット



主 な 広 場 装 置	
<p>●ベンチ、パーゴラ 南地区センター利用者にとって憩いの場となるよう考慮し、椅子タイプ、縁台タイプ、スツールタイプ、テーブルタイプなどを適宜に配置する。</p>	 
<p>●歩路、回廊 東西の歩行者動線の確保や、公共広場の周囲や周辺施設との界隈性を持たすために、1階レベルの歩路を設ける。 炎天時や雨天時を考慮し、パーゴラや東屋などを設置し利便性と快適性をもたす。</p>	 
<p>●植栽 (樹木、草花) ニュータウンの緑環境と調和するように、樹木や草花などを配置し、うるおいと安らぎを与える。</p>	 
<p>●モニュメント ニュータウンや南千里、としてシンボルとなるモニュメントを配置する。 例えば、芸術家やニュータウン出身の著名人、吹田市民の公募によるデザインをアートの的にしたモニュメントとし、地域に根づくように配慮する。</p>	 
<p>●オープンステージ オープンステージを設け、イベントや祭りなどのステージとして利用する。 日常的にはベンチや憩いの場として利用される。</p>	 
<p>●バリカー、車止め まとまったオープン空間となるため、自転車やバイクなどの違法駐輪に配慮し、適宜配置する。</p>	 
<p>●サイン、案内システム 交通広場のサインや周辺施設のサインと連携した総合的なサイン体系を確立し、誰もが早やすく理解しやすいように配慮する。</p>	 
<p>●照明 夜間においても、安全で心地よい空間とするため、照明を適宜配置し、快適性を高める。</p>	 



カ. 全体計画イメージ

